



会報80号  
事務局  
〒243-0426  
海老名市門沢橋2-16-1  
TEL/FAX 046(238)0892

現在の会員数  
221名  
13年国会請願署名数  
15筆  
カンパ随時受付  
13年度累計  
11人 31,560円  
郵便振込先  
(記号番号:  
00200-4 60906  
加入者  
えびな・九条の会)

### 集団的自衛権の論じ方

下山房雄

7月21日の第23回参院選に対して「えびな九条の会」は、会報前号に紹介したように始めての特別の駅頭宣伝行動を行い「護憲議員を国会へ」と訴えた。結果は、公然と9条改憲を党とする自民・みんな・維新三党が衆院に続いて2/3を獲得することは防いだが(会報前号「事務局から」)が言うように公明党は国民の理解を得てから改憲などの日和見的立場なのでこの防御は不確か)、自公与党衆参両院絶対多数体制は出来てしまった。護憲政党は日本共産党(志位和夫委員長)と社民党(又市征治党首代行)と「みどりの風」(阿部知子代表代行)三党であり、この三党は衆院13%弱、参院10%弱しか占めていない。これから三年

の国会、安倍晋三は明文改憲への挑戦には慎重姿勢で行くだろうが、彼が下位法を制定改訂して解釈改憲(下剋上改憲)を強行しようとすることは間違いない。早速に安倍首相が7月8日閣議で行った人事は、その強行の第一歩だ。憲法解釈の番人Ⅱ内閣法制局長年一貫して集団的自衛権行使を否認してきた所に穴を開けようとして、長官に行使容認派の外交官を充てるつまり局内部以外から登用という異例の人事を行ったのである。小松一郎駐仏大使だ。「東京新聞」8月8日が紹介するところによれば、小松は自著『実践国際法』で、個別自衛権を強盗に遭って正当防衛で強盗を傷つける事例で説明し、集団的自衛権行使は殺されそうな友人支援のために強盗を攻撃する正当防衛で「常識的法制度」だと論じている。この論じ方は、主流派経済学Ⅱ新自由主義において、労働問題を論じる場合、賃金取引で労働者がズルをする場合とか、子供の時に夏休み宿題をギリギリ期限までやらない傾向の労働者の場合などと俗耳に入り易い事例で理論モデルを構成するやり方と同じで、危険な政策を正当化するインテキリ理論だ。

歴史的現実の大海から抽象して理論構成をするマルクス経済学では、低賃金過長労働時間の経済史実を観察してそこから理論を引き出す。それによって、自衛権行使を論じるならば、日清戦争からアジア太平洋戦争までの侵略植民地化の日本軍国主義の歴史を、いまや

自民党の主流となった「靖国派」が一貫して自衛の正義の戦争としていくことや、集団的自衛の「友人」たるアメリカが戦後世界史の中で戦争に次ぐ戦争を各地で行ってきた(大きいものだけでも、朝鮮、ベトナム、アフガン、イラク)だけでなく、2004年国務省が将来「アメリカ主導による攻撃を受ける可能性のある世界二五ヶ国(ベネズエラからイランまで)について、その詳細な国家復興計画を民間事業者に発注」(ナオミ・クライン『ショック・ドクトリン』和訳11年岩波刊557頁)し、先制攻撃一占領一新自由主義モデルでの国家復興プランをコンサル会社に設計させていること等を踏まえての議論が必要なのだ。

カンパの届きました。心からお礼申し上げます。  
Mさん(匿名希望)

### 参院選を振り返って

#### 「駅頭宣伝活動」

「平和憲法を守ろう」  
「96条を変えてはならぬ」「憲法九条を守ろう」  
「護憲派を国会へ」横断幕、幟を立てて呼びかける。



大方は知らぬ顔で過ぎて行きます。チラシも受け取ろうとしません。その無関心さに大きな危機感を覚え、通り過ぎようとする高校生らしき一回の前に立ちふさがり大声をあげました。  
「憲法が変えられたら、あなた達 国防軍になってアメリカ軍の前面に立って戦いに行くんだよ」一回は私を睨みつけました。会報を差し出し「これをお父さん お母さんと一緒に読んで下さい」勢いに押されたか、しぶしぶ受け取った。そして付け加えた。「未来はあなたたちのもの。10年後、20年後のために今を生きるのです」この言葉、彼らの心に残ることを祈る。

甘利和美



**許すな、この暴言!**

▼麻生太郎副総理 「護憲と叫んで平和がくるとしたら大間違いだ。改憲の目的は国家の安定と安寧。改憲は単なる手段だ」

「騒々しいなかで決めてほしくない。落ち着いて、われわれを取り巻く環境は何なのか、状況をよく見た世論の上に憲法改正は成し遂げられるべきだ」「ドイツのワイマール憲法はいつの間にか変わった。誰も気がつかない間に変わった。あの手口を学んだらどうだ」(7月29日夜、都内の講演で)

▼石破茂自民党幹事長 「人間ってやっぱり死にたくないし、ケガもしたくないし、『これは国家の独立を守るためだ、出勤せよ』って言われた時、死ぬかもしれないし、行きたくないと思う人は、いないという保証はどこにもない。だからその時に、それに従え、それに従わなければその国における最高刑で、死刑がある国には死刑、無期懲役なら無期懲役、懲役300年なら300年、そんな目にあうくらいだったら出勤命令に従おうっていう、『お前は人を信じないのか』って言われるけど、やっぱり人間性の本質ってのから目をそむけちゃいけないと思うんですよ」(4月21日 「週刊BS-TBS報道部」)

(九条の会ニュース)



**渡されたバトン上映会**

2013-09-27(金)

横浜市戸塚区・戸塚区民センター さくらプラザ

①10:30②14:00③18:30

2013-09-27(金)

川崎市川崎区・サンピアンかわさき

①10:30②14:30③19:00

2013-09-27(金)

藤沢市民会館小ホール※3回上映

2013-09-26(木)

川崎市麻生区・麻生市民館大ホール

①10:30②14:00③18:30

2013-09-10(火)

川崎市中原区・エポックなかはら

①10:30②14:00③19:00

問合せ先 (有) インディーズ 03-6280-5556

**映画「渡されたバトン」  
さよなら原発」を見て**

杉久保 小宮 季隆

この映画は「日本の青空」シリーズの3作目である。題名に興味を惹かれ、炎暑の中、厚木市文化会館に出掛けた。

「原発」という言葉から、その建設をめぐる推進派と反対派が激しくやり合う場面を想像していたが、意外にも、穏やかな劇の進行であった。

静かな映像の中に原発建設に対する町民の心の葛藤が描写されていた。特に老舗割烹の「珊瑚屋」の主人が徐々に変化して

ゆく様子が印象的だった。米国のスリーマイル島やチェルノブイリにおける原発事故の映像が流れ、原発の是非を問いかける。町が実施した住民投票では原発建設反対が12、478票(61%)で、町長を動かし、建設を阻止したことは快挙であると思う。町民がみずから暮らしや郷土を守ったところが後々の世代へ渡すべきバトンだと理解した。

町の将来は町民がよく考え自分たちが決めることが大切だと訴えているように私には思えた。映像に引き込まれたせいか、二時間が短く感じられた映画でした。

活断層  
知らぬふりして  
再稼働

滑走路  
ジュゴン、サンゴの  
海つぶす

**山柳**

依田 郁子

オスプレイ  
呼ばすな青き  
我が空に

人々の  
平和なくすな  
国防軍

大山 登

**DVD上映と**

**参加者発言交流会**

日時 11月9日(土)

場所 海老名市文化会館

内容 351多目的室

☆参加者の自由発言

DVD

「STOP戦争への道」

「集団的自衛権」「憲法96条」「国防軍」と憲法「改正」にかかわる様々な問題。さらに、日本国憲法は日本国だけのものではないのか?などが満載。

サ・ニュースペーパーの福本ヒデ、松下マキらが歴代首相になりきり改憲の狙いをズバリ言い放つ!

(上映時間30分)

**事務局から**

(E-mail aoyama@m4.dion.ne.jp)

参議院選挙では、わかりやすく見易いチラシを作成し、駅頭や地域で約3500枚配布しました。目に留まったことと思います。

ご協力の皆さん 熱い汗を流していただきました。ご苦労様でした。(参考のためチラシを会報に同封しました)

9月の世話人会議は9月18日(水)

午後2時~

海老名市文化会館 352多目的室(3F)

4時頃から駅頭で宣伝・署名活動を行います。

(天候によっては中止します)

憲法や平和についての想いや日常の出来事、感想文、文芸作品など、どしどし投稿ください。字数は600字程度でお願いします。